# [illegible]mite[illegible]

[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]

[illegible]

## [illegible]

シュナウザーのタロウくんは
毎日お仕事を頑張っています。

今日は出張で、遠くの町に来ていました。

「子供たちに、
お土産は何を買って行こう。
夜には帰れるな。」

帰って家族に会うのが楽しみでウキウキと仕事をしていると…

「じ、地震だ…！！！」

タロウくんがいた会社も、
地震ですごく揺れました。

（…マグニチュードは……．．で、震源地は……．．）
テレビの放送が流れます。

「ウチの、近くじゃないか… °」

タロウくんは絶望します。

「帰って、家族を助けないと。」

電話は繋がらないし、
交通機関は止まってしまっています。
テレビでは、被災地の悲惨な状況が映っています。

帰る手段がありませんでしたが、
みんなの助けを借りて
車を借りることができました。

載せるだけ食料を載せて
被災地に向かいます。

途中までは行けましたが、被害の状況が激しく
車で近くに行くことはできませんでした。

「家族は、無事なのか。」

家には、奥さんと息子と娘。
近くにはおじいちゃんとおばあちゃんも住んでいます。

息子は小さい頃から喘息がひどく、
娘はアトピーもあります。

おじいちゃんとおばあちゃんも
調子が悪く、奥さんがサポートをしていました。

必死に歩いて、家に着くと、
家は潰れてしまっていました。

周りも家が潰れ、知っている町は、
知らない街になっていました。

近くの避難所を探し回りますが、
家族の姿は見当たりません。

役所に問い合わせてもダメ、避難所を回ってもわからない。

写真を持っていたので、
それを見せながら回ると、やっと遠くの避難所に行っているのがわかって、
やっと家族と再会できました。

会うことができて、とても喜びました。
だけど、そのあとがまた、大変でした。

息子に喘息がでてしまったけど薬がない。
移動させたいけど、ガソリンも車もないし、道も通ることができない。

娘はアレルギーなので食べるものがない。
おじいちゃん、おばあちゃんは、寒さで震えて元気がないし
食欲もない。

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□3□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□……□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□mite□□□□□□□□□
□□□□”□□”□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□

災害があっても命を守るため。

サポーターの仲間と一緒に、いざ災害が起きた時のために、
日々の安心を作る活動をしています。